

「教育の日」について

1 「教育の日」の検討について

県民の教育に対する意識を高め、また、学習活動への参加の機運を醸成していくため、「全国生涯学習フォーラム高知大会」の開催を契機として「教育の日」を制定するにあたり、そのあり方を検討する。

2 全国の制定状況（H20.12現在）

30都道府県、105市町村

3 制定方法

各関係団体からヒアリングを実施し、論点を整理した上で協議を行う。

(1) ヒアリング項目（案）

- ・「教育の日」のあり方
- ・設定時期（対象日、対象週(月)間）
- ・各団体で考えられる活動内容

(2) 対象団体（例）

- ・高知県市町村教育委員会連合会
- ・高知県小中学校校長会
- ・高知県高等学校長協会
- ・高知県私立中学高等学校連合会
- ・高知県保育士会
- ・高知県私立幼稚園連合会
- ・高知県女性退職校長会
- ・高知県高等学校退職校長会
- ・高知県幼保小中高PTA連合体連絡協議会
- ・高知県公民館連絡協議会
- ・(社)高知県子ども会連合会
- ・高知県社会教育委員連絡協議会

※事前に各団体に意見を照会し、その内容についてヒアリングを行う。

「教育の日」の制定状況等

	香川県	徳島県	愛媛県
名称	かがわ教育の日	とくしま教育の日	えひめ教育の日
対象日	11月1日	11月1日	11月1日
週間・月間	—	とくしま教育週間	えひめ教育月間
対象期間	—	11月1～7日	11月
制定日等	H19.6.19決定	H16.3.31施行	H20.11.1宣言
制定方法	「かがわ教育の日」宣言(H19.11.3)	「とくしま教育の日を定める条例」	「えひめ教育の日」制定宣言
制定主体	「かがわ教育の日」実行委員会	(議員提案)	「えひめ教育の日」推進会議
事務局	(社)香川県教育会	徳島県教委教育総務課 (「とくしま教育の日」実施本部)	(財)愛媛県教育会
メイン行事	「かがわ教育の日」のつどい	—	「えひめ教育の日」推進大会 「えひめ教育の日」推進フェスティバル
関連行事	国の「教育・文化週間」(11/1～7)を中心とした10～11月に「教育・文化週間関連事業」として学校教育関係を中心とした行事を集中的に開催	「とくしま教育週間」を中心とした期間に学校行事や社会教育事業などの関連行事を実施	「えひめ教育月間」に県内各学校、公民館などで学校開放や文化祭などの関連行事の開催

○かがわ教育の日

(趣旨)

- 1 県民の教育に対する理解を深め、教育尊重の気運を醸成するとともに、学校・家庭・地域社会の教育力を高め、生涯学習の充実と発展を図るため、「かがわ教育の日」を設ける。

(かがわ教育の日)

- 2 「かがわ教育の日」は、11月1日とする。

(取り組み)

- 3 「かがわ教育の日」実行委員会は、11月の第一土曜日に「かがわ教育の日」のつどいを開催する。また、参画団体は、11月1日から7日までの期間を中心に、その前後の期間に「かがわ教育の日」の趣旨にふさわしい取り組みを行う。

(その他)

- 4 この定めは、本会が提出した陳情書「『かがわ教育の日』制定に向けた取り組みについて」が、平成19年3月16日、香川県議会本会議において採択されたことにより、「かがわ教育の日」実行委員会総会において制定したものである。

平成19年6月19日

「かがわ教育の日」実行委員会

○とくしま教育の日を定める条例

(趣旨)

- 第1条 県民の教育に対する理解を深めるとともに、学校教育及び社会教育の振興の機運を醸成し、その充実と発展を図るため、とくしま教育の日をもうける。

(とくしま教育の日)

- 第2条 とくしま教育の日は11月1日とする。

(とくしま教育週間)

- 第3条 第1条の趣旨にふさわしい取組を行う週間として、11月1日から同月7日までをとくしま教育週間とする。

(事業等)

- 第4条 県は、とくしま教育週間において、第1条の趣旨にふさわしい事業を行うものとする。

- 2 県は、県民及び市町村その他の団体に、とくしま教育週間を中心として、第1条の趣旨にふさわしい事業を行うよう協力を求めるものとする。

- 3 県は、前2条の規定により行われる事業について、広く県民に参加を呼びかけるものとする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。(平成16年3月31日施行)

○「えひめ教育の日」制定宣言

国際化、情報化、少子・高齢化の進展など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中で、国においては、約 60 年ぶりに教育基本法を改正し、社会総がかりで教育改革への取組が進められています。

未来を担う子どもたちが、愛媛で生まれ育ったことを誇りとし、明るく、生き生きと健やかに育ってくれることが、私たちの願いであり、その環境を整えていくことは、私たち大人の責務であります。

教育立県えひめの創造を目指し、全ての県民が、教育についての理解と関心を深め、家庭・学校・地域住民および行政等が、それぞれの役割を担い、県民総ぐるみで愛媛の教育について、考え、語り合い、行動する契機とするため、毎年、戦後の新しい教育制度が整った日である11月1日を「えひめ教育の日」に、11月を「えひめ教育月間」とすることを、本日、ここに宣言します。

平成20年11月1日

「えひめ教育の日」推進会議

平成21年度県民世論調査の概要

- 1 調査担当課
高知県総務部広報広聴課
- 2 調査目的
県民のニーズ・意識などを把握し、県政運営上の基礎資料を得ることを目的とする。
- 3 調査事項
「県の基本政策について」、「産業振興計画について」、「高知県の教育について」など7項目
- 4 調査対象
県内全域から20歳以上の県民3,000人を抽出（各市町村の「選挙人名簿」より）
- 5 対象者抽出方法
層化二段無作為抽出法
- 6 調査方法
郵送法
- 7 調査期間
平成21年9月15日（火）～30日（水）までの16日間
- 8 調査委託先
株式会社 相愛
- 9 調査票配布数と回収状況
配付数 3,000票
有効回収数 1,569票（有効回収率 52.3%）

教育委員会では、高知県の将来を切り拓くためにも、子どもたちをみんなで守り育てる教育的な風土づくりが必要だと考えています。そのための1つの方策として、県民全体で教育について考えるきっかけとなるよう「教育の日」を定めることを「教育振興基本計画」に盛り込む予定です。

問 26 高知県が「教育の日」を定めた場合、その日にちなんだ取組としてどのようなものが望ましいと思いますか。
(3つまで〇印)

項目	回答数	回答比率
1 県内すべての学校を公開するため参観日や参観週間を設定する	301	19.2%
2 学校や市町村、地域で講演会や発表会などを開催する	170	10.8%
3 全県的な教育フェアやフォーラムを開催する	182	11.6%
4 子どもから大人まで県民一人ひとりが読書に取り組む運動を展開する	226	14.4%
5 県内全ての校区で登下校時等の子どもの見守り活動、あいさつ運動を展開する	472	30.1%
6 家族で一つのことを話し合う「家族会議」を実施する	257	16.4%
7 早ね・早おき・朝ごはん運動をさらに全県的な運動に展開する	493	31.4%
8 学校や地域でふるさとの海や山、川などの自然や伝統文化を生かした体験活動を実施する	560	35.7%
9 新米パパやママ、妊婦等を対象とした子育て相談会や講習会を開催する	199	12.7%
10 全県的に仕事と家庭の両立を図るため、企業の協力を得て、ノー残業デーを実施する	217	13.8%
11 企業による県民を対象とした社会見学の実施やインターンシップの積極的な受け入れを行う(※企業によるインターンシップ)	126	8.0%
12 美術館や博物館などの文化施設を無料開放する	319	20.3%
13 清掃活動や花いっぱい運動などの社会貢献活動を全県的に実施する	345	22.0%
14 その他	64	4.1%
無回答	65	4.1%
合計	1,569	-

問 27 今後、前問（問 26）のような教育ひょういくかんれんぎょうじ関連行事が実施された場合、あなたはこのような行事に参加されますか。（1つだけ〇印）

項目		回答数	構成比
1	積極的に参加する	254	16.2%
2	どちらかというに参加する	690	44.0%
3	どちらかというに参加しない	138	8.8%
4	参加しない	123	7.8%
5	わからない	301	19.2%
	無回答	63	4.0%
	合計	1,569	100%

問 28 あなたは、「教育の日」をどのように設定すると、問 26 の取組に県民一人ひとりが取り組みやすく効果が上がると思いますか。（1つだけ〇印）

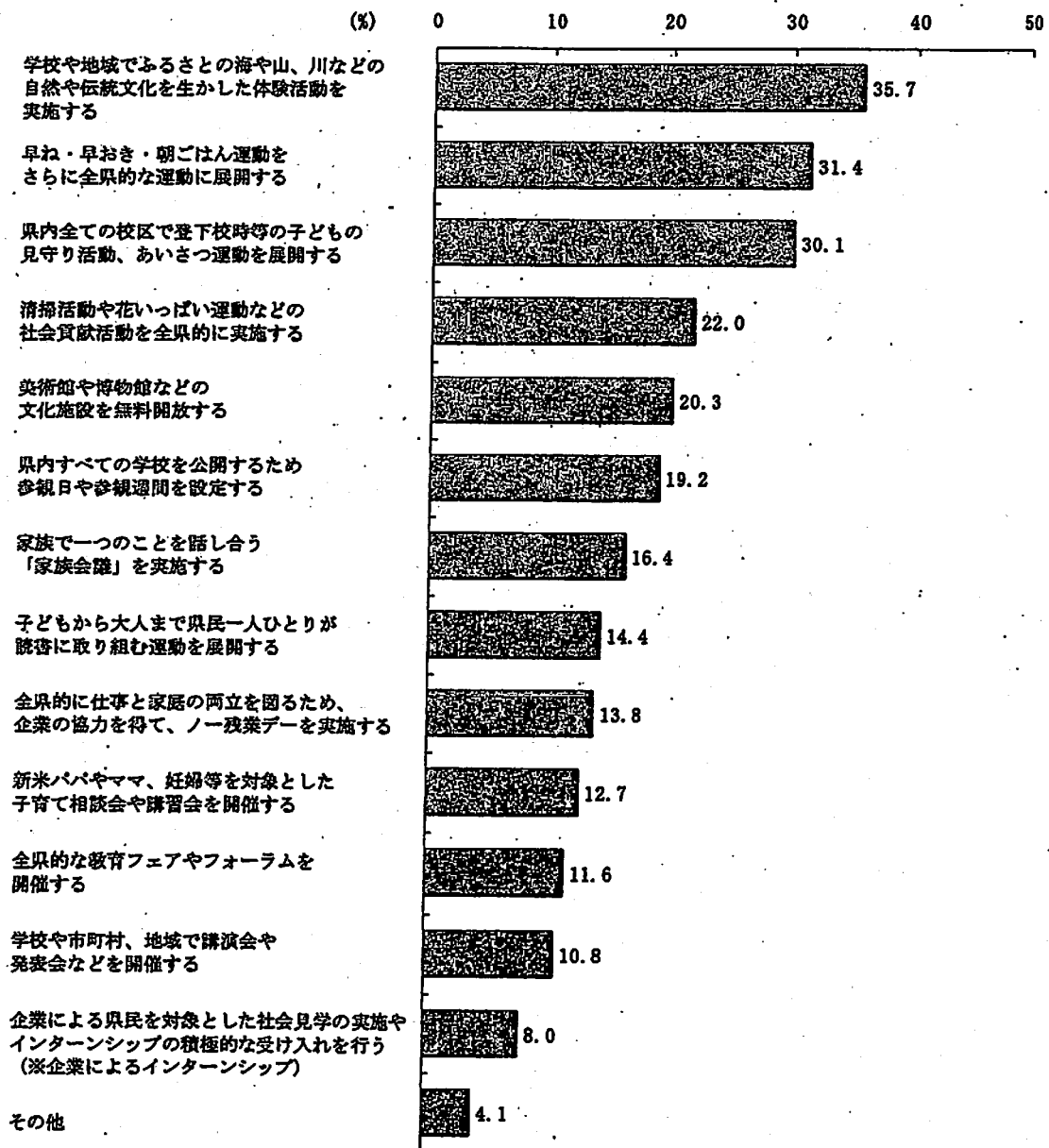
項目		回答数	構成比
1	「教育の日」を定め、その日に取組を展開する	214	13.6%
2	「教育の日」とその日を含む1週間を教育週間と定め、その1週間の中で取組を展開する	405	25.8%
3	「教育の日」とその日を含む1月間を教育月間と定め、その1カ月間の中で取組を展開する	156	9.9%
4	「教育の日」として毎月特定の日を指定し、毎月その日に取組を展開する	419	26.7%
5	その他	51	3.3%
6	分からない	244	15.6%
	無回答	80	5.1%
	合計	1,569	100.0%

問 26 高知県が「教育の日」を定めた場合、その日にちなんだ取組としてどのようなものが望ましいと思いますか。 (3つまで○印)

「教育の日」を定めた場合、その日にちなんだ取組として望ましいものについては、「学校や地域でふるさとの海や山、川などの自然や伝統文化を生かした体験活動を実施する」が 35.7%で最も高くなっている。次いで、「早ね・早おき・朝ごはん運動をさらに全県的な運動に展開する」が 31.4%、「県内全ての校区で登下校時等の子どもの見守り活動、あいさつ運動を展開する」が 30.1%となっており、上位3項目は30%を超える比率となっている。

以下、「清掃活動や花いっぱい運動などの社会貢献活動を全県的に実施する」が 22.0%、「美術館や博物館などの文化施設を無料開放する」が 20.3%と続いている。

《 総 合 》



「その他」(自由記述欄)

問26 高知県が「教育の日」を定めた場合、その日にちなんだ取組としてどのようなものが望ましいと思いますか。

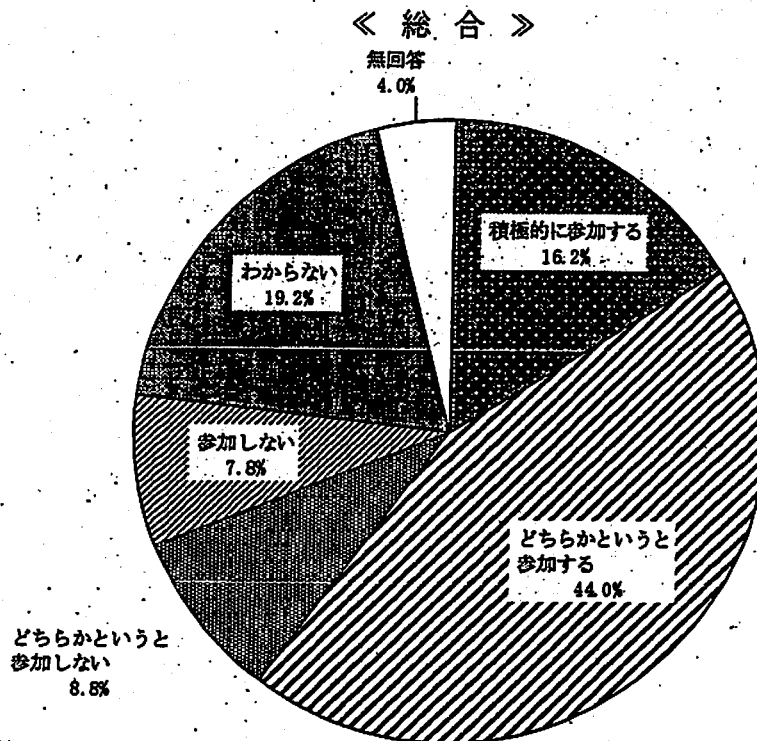
- ・昔のように居残りしてでも学習する日を週1日は作るべき。小学生の宿題は少なすぎます。
- ・その日、周辺だけをやってもムダ。
- ・大学などと協力し、応用学問を学べる場を設ける。
- ・価値観が多様化しているので意味がない。
- ・金のかかることを考えるのではなく、金をかけずに出来ることを計画してはいかがですか。自分のことだけしが考えていない人に他人のことを考えることはできない。
- ・5あいきつ運動、学校では知らない人とは口を聞かぬよう指導しているのではないですか？
- ・両親等が先生になり一日授業をする。職場のことや生活状況等を交えて参観日に併せて(1人30分~20分程度)、体育等も含め。
- ・家族単位で参加できるような大会の開催(ゲームやクイズ感覚で学習できるようなものや、レクリエーションのようなスポーツ大会など、小さい地域で行うものだけでなく、予選から選抜・決勝へとつながり県全体で行えるもの。)
- ・テレビを見ない日をつくり、家族の会話やふれあいをはかる。
- ・教育委員会において、所轄の地域での教育振興についての実状報告を公表する。
- ・教育は継続することが最も重要です。①本人への動機づけとやる気の継続。②外部環境を整えてサポートすること。の2点に尽きるので、具体的にどうするかは個人の置かれている状況により個々の対応を考えるべきです。
- ・子どもが屋外で遊べる環境づくり。
- ・子どもが家庭で勉強する際、親に質問し教えられるような環境づくりも大切だと思つので、親への勉強会(子どもへの教え方や時間の取り方など)も必要では？
- ・授業日数、時間を増やす。(土、夏休み、ゆとり教育の廃止)
- ・学校、企業を休日にする。
- ・勉強よりスポーツ
- ・教育の必要性を地区の人々にアピールするような活動をもっとすべき。例えば学校の様子などをよく知らせる等
- ・一週間または10日に1回新聞を読んで家族と話し合う。
- ・必要性がわからない。
- ・ムダ
- ・そんな日はいらぬ。
- ・教育の日など定めなくてもいいのでは、毎日が教育なのではないか。
- ・必要なし。
- ・イベントを行う必要なし。
- ・効果無し。
- ・教育的な風土づくり??まったく意味がわかりません。教育の日を定めて、何かが変わるとは思えませんが。
- ・年に1回「教育の日」を定めてもあまり意味がないと思う。
- ・教育の日は必要ないと思う。

問27 今後、前問(問26)のような教育関連行事が実施された場合、あなたはこのような行事に参加されますか。(1つだけO印)

「教育の日」を定めた場合にその日にちなんだ取組として実施される教育関連行事に参加するかどうかについては、「積極的に参加する」が16.2%、「どちらかというに参加する」が44.0%で、【参加する】(=「積極的に参加する」+「どちらかというに参加する」)が60.2%と全体の6割を越す割合となっている。

一方、「どちらかというに参加しない」は8.8%、「参加しない」は7.8%で、【参加しない】(=「どちらかというに参加しない」+「参加しない」)は16.6%となっている。

また、「わからない」が19.2%となっている。

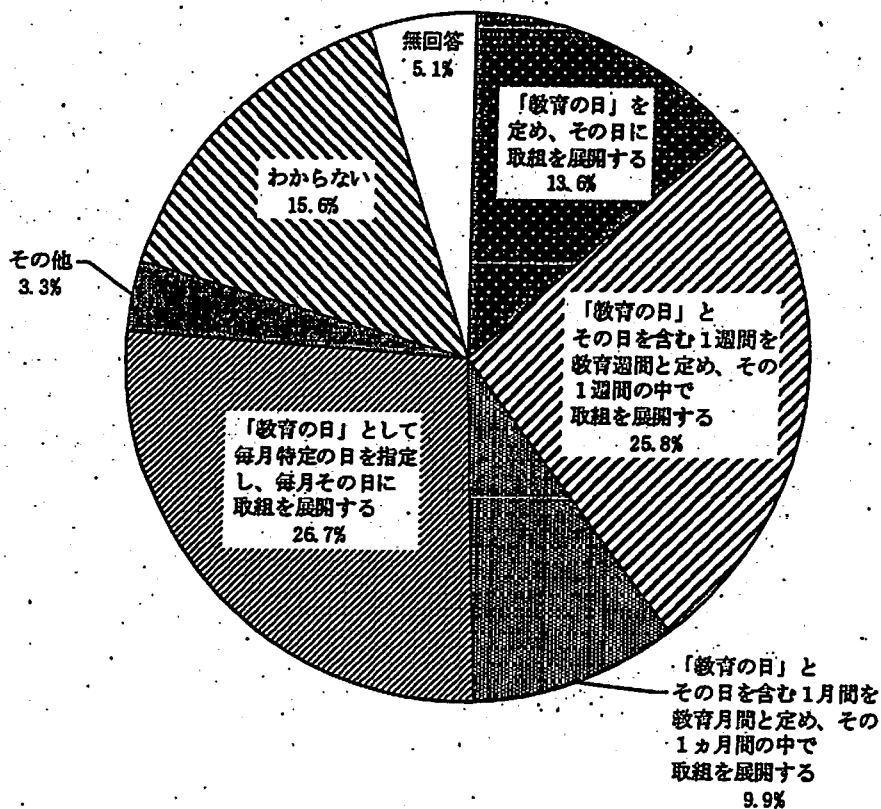


問28 あなたは、「教育の日」をどのように設定すると、問26の取組に県民一人ひとりが取り組みやすく効果が上がると思いますか。 (1つだけ〇印)

県民一人ひとりが取り組みやすく効果が上がるよう、「教育の日」をどのように設定するかについては、「『教育の日』として毎月特定の日を指定し、毎月その日に取組を展開する」が26.7%と最も高く、次いで、「『教育の日』とその日を含む1週間を教育週間と定め、その1週間の中で取組を展開する」が25.8%と、ほぼ同じ割合で並んでいる。

以下、「わからない」が15.6%、「『教育の日』を定め、その日に取組を展開する」が13.6%、「『教育の日』とその日を含む1月間を教育月間と定め、その1ヵ月間の中で取組を展開する」が9.9%と続いている。

＜ 総 合 ＞



問28 あなたは、「こうち教育の日」をどのように設定すると、問26 の取組に県民一人ひとりが取り組みやすく効果が上がるとおもいますか。

- ・しっかりとPR を行い県民に定着させる。
- ・設定内容により期間、回数などは異なると思う。何れにしても長続きするように無理のない取組から始める。
- ・3 ヶ月に1 回程度で特定の日を指定して取組。
- ・毎月、決まった週に1 週間、取り組む。
- ・費用対効果にもよるので定期的に(年数回)が望ましい。
- ・教育は継続が大事。特定日等で取り組むとするのでは、関係者の負担だけになりかねない。年次目標をたて、1年間かけて取り組む方が良いのでは？
- ・毎月でなく2~3 ヶ月に1 回程度だと参加しやすいと思う。
- ・教育の日とがじゃなく、日々、県民一人一人が子どもの教育を考えるような県にする。県全体で標語を作り、色々な所に張り、いつでも意識するようにする。
- ・教育の日の設定の効果は期待できない。毎日が教育である。
- ・毎日が「教育の日」です。スローガンのように特定の日を設定するだけでは効果は上がらない。
- ・教育の日を制定するなら、それはシンボリックなものでよく、日常・恒常的にどう取り組んでいくかが大事。
- ・毎日が教育の日であると思う。理想・目的を仰ぐ目は高く、大きくあるべし。されど踏みしめる足は常に地に密着しておらねばならぬ。確かな今日の足取りが高い山頂をきわめるのだ。人間は鳥ではない。
- ・定めても意味がないと思う。毎日を心がけるとよいと思う。
- ・毎日が教育の日(2)
- ・まずは生活力、親力の格差をどう縮めるのかが問題だと思います。
- ・日々の生活の中で先ず大人たちが考えることを始めるとよいと思うので「教育の日」として定めて学校現場の教職員の方の仕事が増えてしまうのがマイナスのように思われます。政策を具体的に県民にアピールすることで大人の意識から変えていくべきだと思います。
- ・あまり勉強を押しつけても、頭に入らない。やる気が出たら、皆頑張る。
- ・行政が一方的に押しつけても効果は疑問だと思う。
- ・生きることが教育だと思う。
- ・日が問題じゃなく、子ども・教師・人々の意識の問題。どのくらい意識を目ざめさせるかが課題
- ・教員の質をもっと良くする。
- ・その日だけ
- ・教育の日を定める必要はない。(4)
- ・4 の方法が必要だろうか。
- ・イベント的な取組はやめる。
- ・「~の日」の設定うんぬんの問題ではない。